

議会の今を伝える

2014. 5. 1 No.33

編集：議会だより編集委員会 印刷：有限会社 利根印刷所
発行：沼田市議会議長 大竹 政雄
〒378-8501 沼田市西倉内町780
TEL:0278-23-2111 FAX:0278-22-6333

沼田市 議会 だより



本年2月14～15日観測史上例のない豪雪に見舞われた沼田市内の様子

3月定例会号

本定例会は、2月28日に招集され、3月19日までの20日間の会期となりました。

付議案件は、市当局から条例8件、予算8件、補正予算10件、その他3件、人事1件、合計30件が提出され、全て原案可決、同意となりました。

議会からは、条例1件、請願2件、意見書案3件が提出され可決・採択となりました。

3月定例会の概要

議会日程表

日	会議	内容
28	本会議	開会 提案理由の説明 質疑・討論・採決
3	委員会	総務文教常任委員会
6	本会議	一般質問（4人）
7	本会議	一般質問（4人）
10	本会議	一般質問（2人） 委員長報告 質疑・討論・採決
11	委員会	予算審査特別委員会
12	委員会	予算審査特別委員会
14	委員会	予算審査特別委員会
17	委員会	予算審査特別委員会
18	委員会	総務文教及び民生福祉常任委員会
19	本会議	提案理由の説明 委員長報告 質疑・討論・採決 閉会



グリーンベル21

グリーンベル21の所有権取得の決断の有無について
中心市街地関連予算について
公共交通政策について

高柳 勝巳 議員



「ぬっくん」「まっくん」「たっくん」

安心・安全のまちづくりについて
行政組織機構改革について
ゆるキャラについて

布施 辰二郎 議員

A1 本庁舎は、間もなく築50年を経過することから、建物や設備の老朽化が進み、耐震性や市民サービスへの影響など多くの課題が見受けられます。庁舎の整備は、市民の安全・

Q1 グリーンベル21対策係について報道では、「買い取りも視野に、空床対策・地権者関係、管理費等対立する投資会社との折衝に特化して行う云々」とし、「最大公約数を見つづけるため、関係者と協議を進める」とも報じられています。
グリーンベル21を「仮庁舎」とする検討内容を伺います。

Q1 過日の大雪災害について、本市の対応について伺います。
A1 過日の大雪の際は、災害の恐れがあることから15日の午前6時市役所内に市長を本部長とする「沼田市災害対策本部」を設置いたしました。
先ずは、市民の安全・安心、生命・財産を守ることを優先に緊急出動態勢や避難所開設準備、高齢者等安全確保対応、除雪作業並びに排雪場所の確保などに順次取り組んでまいりました。
Q2 被害状況に応じた補助金等の支援対策について伺います。
A2 「平成26年沼田市豪雪災害

復旧緊急補助金交付事業」を創設し、市内に住所を有し、住宅を所有する市民とし、対象工事は、住宅及び下屋、物置、カーポートなどの付帯施設で、撤去費用を含め10万円以上の復旧・修復工事を実施する場合に補助率30%、限度額15万円の補助を行うものであります。

Q2 市長は、中心市街地関連予算をこれまで平均約2億円から、倍額の4億円として、今後8年間持続させる考えを述べました。随分思い切った関連予算を重点配分したなと思う反面、これでも計画期間である平成33年までには、関連予算総額に遠く及ばないと考えられるわけですが、その乖離についての根拠や理由、そしてどう調整を図っていくか

三井生命保険株式会社から、合同会社メドテック・インベストメント2及び3に資産の譲渡が行われ、メドテックによる再生に向けた取り組みの意向が表明され、管理組合方式への移行等も合意されましたが、いずれも実現には至っておりません。
平成20年に三井生命保険株式会社からの無償譲渡申出を検討した時点とは、グリーンベル21を取り巻く環境が大きく変化していることから、専門的にその諸課題の解消、環境の変化への対応を図るため、産業振興課にグリーンベル21対策係を設置す

現在の計画事業費総額が約148億円、これまでの実施済み事業費が約63億円、残事業費が約85億円の見込みです。

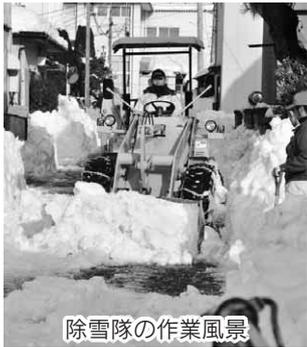
Q2 市長は、中心市街地関連予算をこれまで平均約2億円から、倍額の4億円として、今後8年間持続させる考えを述べました。随分思い切った関連予算を重点配分したなと思う反面、これでも計画期間である平成33年までには、関連予算総額に遠く及ばないと考えられるわけですが、その乖離についての根拠や理由、そしてどう調整を図っていくか

などを説明願いたいと思います。
A2 平成25年9月、土地区画整理事業における2街区・4街区の仮換地指定及び建物調査の速やかな実施の請願が採択されたことを受け、この整備を早急に図っていくために、中心市街地街なか再生関連事業並びに中心市街地土地区画整理事業について、これまで約2億円で計画していた毎年の事業費を、約4億円に変更したものです。

残事業費との乖離は、今後の財政事情を勘案した上で、事業計画の変更により解消していく考えです。

Q3 医療施設移転に伴う交通手段の確保策について伺います。
A3 市が昨年行ったアンケート調査でもバスの利用目的の多くを「通院」又は「買い物」と回答しており、自力での通院手段のない住民や多くの利用者のために、新病院へ既設の路線延長によるバスを回すことについて具体的に検討する必要があります。病院関係者と連携した調整が必要と考えています。

るものであります。
Q4 全国的にゆるキャラブームとなっているが、本市の「ぬまたんち」の活動とこれまでの取り組みについて伺います。
A4 「ぬまたんち」については、エコーはがき、名刺台紙、封筒、各種パンフレット、職員の名札等に掲載するとともに、市民等の使用についても許可し、本市のPRに努めてきたところであり、団体等への貸出も積極的に進め「ぬっくん」、「まっくん」、「たっくん」はひとりでの活用も視野に入れ、幅広い活用を図ってまいりたいと考えております。



除雪隊の作業風景

**災害時の危機管理
について(2月14
日・15日の大雪の
災害)
野猿及び鹿の対策
について**

石川 初雄 議員



豪雪災害対策本部

**新年度予算(案)
の主要な事業につ
いて
地域災害(被害)
における対応につ
いて**

石井 紘一 議員

Q1 高齢者や一人暮らし世帯の市民の安否確認について伺います。

A1 2月14日から15日にかけての記録的な大雪に際しましては、『ひとり暮らし高齢者基礎調査』の結果に基づいた電話連絡のほか、在宅介護支援センターによる高齢者の実態把握調査など、さらには、民生委員児童委員の方々による見守り活動により安否の確認を行ったところであります。

Q2 買い物弱者への食糧や燃料の対応について伺います。

A2 このたびの大雪による要請

Q1 市制施行60周年記念事業の主なる事業内容について伺います。

A1 記念事業として8事業、冠事業として35事業を実施するものであります。

主な内容であります。記念誌「60年のあゆみ」及び原動機付自転車オリジナルナンバープレートとの作成により本市の魅力を内外に発信するとともに、市制施行60周年記念・水道敷設90周年記念式典の開催を実施するものであります。

Q2 3・3・1環状線栄町工区、延長1,320メートル区

は8件ございました。

そのうち1件が食べ物に関する心配事の相談でありましたので、支援を求める高齢者の地域を担当する民生委員児童委員に連絡し、訪問対応していただいたところであります。

その他7件につきましては、除雪に関わる内容であり、ご要望に沿えるよう努めた次第であります。

Q3 緊急避難者の受け入れ態勢について伺います。

A3 市役所ロビーでの対応についてであります。15日には市役所、保健福祉センター、各地

間の事業進捗状況と今後の事業計画について伺います。

A2 平成25年度末の環状線全体の供用済延長は4,744メートルで、進捗率は約62%、栄町工区の進捗率は、事業費ベースで約31%となる見込みです。

栄町工区の事業認可期間は平成27年3月末までで、来年度は、事業期間の延伸について、群馬県ご当局のご指導をいたたき、必要な手続きに入ってまいりたいと考えております。

Q3 企業誘致の状況と今後の取り組みについて伺います。

A3 横塚生品農工地区をはじめ、

区内公民館及び白沢町・利根町の両振興局に一時避難所を開設したところであります。

Q4 ICTを活用した注意喚起及び緊急広報について伺います。

A4 沼田市のホームページで『大雪に伴う災害関連情報』を掲載し、市道の除雪状況、緊急避難所の開設、総合相談窓口の設置などのほか、ゴミ収集や路線バス運行状況、さらには保育園、市立幼稚園・小中学校の対応など、市民生活に直結する情報について逐次、発信を行ってまいりました。さらに、併行してツイッター、ホットメールぬ

市内の工場跡地や遊休資産など、企業の立地に適した用地等の情報提供に努め、県内をはじめ、東京都内や埼玉県、新潟県等への企業訪問を通して、沼田市の魅力や優遇制度等を紹介し、企業誘致活動を進めてまいりたいと考えております。

Q4 2月14日からの豪雪による災害(被害)の今後の対策について伺います。

A4 今後の対策は、市民の住環境の速やかな復旧を図ることを目的として、「平成26年豪雪災害復旧緊急補助金交付事業」を創設。また、農業施設等の被害

また、FM-OZEなどを活用して、なだれ注意報発表や落雪、路面凍結などの注意喚起を行ってきたところであります。

Q5 野猿及び鹿の対策について、動物に装着する発信器及び受信システムで、GPS方式の位置情報最新機器の導入について伺います。

A5 来年度、群馬県がGPS方式による鹿の動向調査を利根町振興局管内において試験実施することとなっております。その効果について検証してまいりたいと考えており、GPS方式は有効な手段であると思われれます。

に対し、「平成26年農業生産施設災害見舞金支給事業」を創設したものであります。

今後の農業経営や地域経済に与える影響が極めて憂慮される事態となつていことから、県と密接な連携のもと必要な対策を検討してまいりたいと考えております。

Q5 同じく教育委員会での今後の対策について伺います。

A5 今後の対策につきましては、保護者や地域の方々と信頼関係を高め、各学校の危機管理マニュアルについて、見直しを図ってまいりたいと考えております。



倒壊したパイプハウス

大雪対応について グリーンベル21について

片野 彦一 議員



市内を走る小型バス

大雪被害について 市役所庁舎について 公共交通について 振興局制度について

大東 宣之 議員

Q1市の除雪計画と対応状況についてと今回の大雪を踏まえ、どのような対策を検討されたのか伺います。

A1市の除雪計画は、10センチメートル以上の積雪、または路面の凍結などの状況により、市道認定路線のうち、170路線、総延長138・6キロメートルを業者に委託し、残りの路線については、建設課直営にて実施する計画となっております。通常の降雪であれば、十分な対応が図れると考えています。

今回の大雪では、事前に委託契約を結んでいた業者以外の業

Q2農業などの被害状況と被災者への対応をどう進めるのか伺います。

A2農作物被害は、被害戸数で約360戸、農業用施設の被害が約1,000棟、被害総額は、施設と農産物を合わせて約3億4,000万円と推計しています。

Q3市役所庁舎の立て替えをどう考えているのか伺います。

A3沼田市第五次総合計画において庁舎整備検討事業として位

者へも重機の所有状況などにより、可能な限りの委託を行い、建設課直営においても可能な限りの除雪を行ってきました。

しかし、今回の大雪では、除雪作業の限界があり、市民の皆様にご不便をおかけしましたことをお詫び申し上げます。

Q2豪雪災害復旧補助金が創設されたが、被害状況はどのくらいか伺います。また、農業関係（ハウス、農作物等）の被害が大きいですが、支援制度の創設を考えているのか伺います。

A2対象工事は、住宅及び下屋、物置、カーポートなどの付帯施

設で、撤去費用を含め10万円以上の復旧・修復工事を実施する場合に補助率30%、限度額15万円の補助を行うものです。

被害状況は、建物の一部損壊1棟、床下浸水2棟の報告があり、屋根やベランダ等の一部損壊及び物置やカーポート等の倒壊などは現在、300件程度の相談が寄せられています。

農作物被害では、被害戸数で約360戸、農業用施設の被害が約1,000棟、被害総額につきましては、施設と農産物を合わせて約3億4,000万円と推計しています。

Q3グリーンベル21の問題解決にどう取り組むのか伺います。

A3実態として、テナントが次々と退店し空床が拡大し続ける中で、ビルを維持するための管理費を捻出することは困難となっており、関係者の意見や立場を総合的に判断し、市としても課題解決に向けて対応していきたいと考えています。

Q1今回の大雪へ、情報発信、除雪等の対応を伺います。

A1情報発信では、ホームページ上に『大雪に伴う災害関連情報』を掲載し、市民生活に直結する情報について逐次、発信を行ってまいりました。

除雪については、委託業者及び直営により、まずは幹線道路及び準幹線道路の除雪に全力を挙げて対応し、生活道路や除雪車の入れない歩道など除雪の困難な箇所については市職員で編成した除雪隊によりマンパワーで対応するなど、居住環境の速やかな復旧を図りました。

Q2農業などの被害状況と被災者への対応をどう進めるのか伺います。

A2農作物被害は、被害戸数で約360戸、農業用施設の被害が約1,000棟、被害総額は、施設と農産物を合わせて約3億4,000万円と推計しています。

Q3市役所庁舎の立て替えをどう考えているのか伺います。

A3沼田市第五次総合計画において庁舎整備検討事業として位

置づけており、「沼田市庁舎整備基金条例」に基づき基金の積み立てを行い、庁舎整備に向けて必要となる経費の一部を計画的に積み立てています。

今後、さまざまな議論や検討を行っていかねばならないものと考えています。

Q4デマンドバス運行に今後どのように取り組むのか伺います。

A4今年度に県の「地域大学連携モデル事業」により現状のバス運行の検証を依頼している高崎経済大学の公共交通の専門家のアドバイスをいただきながら地形や地理的条件を考慮し、地

域にあった路線バス・デマンド交通となるように研究を行っていく予定です。

Q5振興局制度の成果と課題についてどのように考えているのか伺います。

A5振興局長の存在や幅広い支所機能などが、編入合併に伴う不安や懸念、激変の緩和などに役立ってきたと考えています。

本市が将来にわたって持続可能な行財政運営を維持していくことができるよう、その対応を図っていくことが重要であると考えています。

平成26年度
主要事業の概要

組織機構のスリム化・効率化を図るため、平成26年度から市民部市民課の3係を2係に統合し、係の削減を行うとともに、政策面において特にグリーンヘル21の諸課題に対応するため経済部産業振興課に「グリーンヘル21対策係」を設置、また、限定特定行政庁としての体制整備を図るため、都市建設部建設課に2係を設置し、同課建築室を廃止、全庁的な行政経費の節減合理化と簡素で効率的な事務執行に万全を期していきます。

平成26年度本市の予算編成に当たっては、歳入に見合った歳出構造への転換が極めて重要であることから、行政改革をさらに推し進め、沼田市第五次総合計画に掲げる6つの施策の大綱を基本とし、合併10年後を見据えるとともに、後期実施計画における主要事務事業の推進を図るべく5つの施策を柱として掲げ、取り組むこととしました。

「安全・安心」に関する事業は、市制施行60周年の節目の年であることから記念式典事業、消防団機械器具置場等整備事業、路線バス・デマンド交通研究事

平成26年度予算概要表 単位：百万円

会計区分	本年度予算	前年度当初
一般会計	20,888	20,439
特別会計	国民健康保険	6,638
	後期高齢者医療	598
	介護保険	4,126
	簡易水道事業	360
	下水道事業	1,614
	農業集落排水	171
	特別会計合計	13,454
水道事業会計	521	474
総合計	35,066	34,367

業、都市計画区域等見直し事業、集落維持などをサポートする集落支援員事業、道路の安全確保として市道等改良事業、橋りょう補修事業、やさしさ・にぎわいの核整備事業及び中心市街地街なか再生関連推進事業を計上しました。

「教育・文化」に関する事業は、継続して行う小・中学校耐震診断・耐震補強事業、校舎等整備事業、文化財ガイド作成事業、運動公園野球場改修事業、水と緑の大地ふるさと寄附事業、生方記念文庫管理事業、県指定重要文化財旧沼田貯蓄銀行保存

整備事業、川田運動広場維持管理事業、沼田市中学校国際交流事業、幼稚園指導事業を計上しました。

「健康・福祉」に関する事業は、急速に進行する少子化対策として、保育園及び幼稚園の第3子以降保育料等無料化、子どもの健やかな成長、発達を支援するためのつばみサポート事業、高齢者への救急医療情報キット給付事業、金婚・ダイヤモンド婚慶祝事業、児童手当支給事業、放課後児童の安全・安心な居場所づくりとして学童クラブの充実を図る放課後児童健全育成事

業、地域子育て支援拠点事業、予防接種事業、健康診査事業を計上しました。

「産業・観光」に関する事業は、農産物ブランド化事業、農産物第6次産業化推進事業、野猿対策調査事業、竹林整備促進事業、農業基盤整備促進事業追貝原地区、望郷ラインビューポイント整備事業、小規模農村整備事業、小規模土地改良事業高戸谷地区、ため池等整備事業、商店街まちづくり事業、グリーンヘル21対策の課題解決に向けたまちづくり支援事業、歴史資源観光推進事業を計上しました。

「エネルギー・環境」に関する事業は、県内を持ち回りで実施する花と緑のぐんまづくり推進事業、地域資源を活用した環境教育の環境啓発拠点として環境教育施設整備事業、放射性物質汚染対策事業、住宅用太陽光発電普及事業、廃棄物再生利用推進事業を計上しました。

なお、市制施行60周年記念事業として、記念誌の発行、原動機付き自動車オリジナルナンバープレート作成事業などのほか、既存事業に冠を付して年間を通じた取り組みを推進いたします。

平成26年度
予算審査特別委員会概要

委員長に宇敷 和也議員、副委員長に石川 初雄議員を選出して、延べ63人、112件の質疑が行われました。一部ですが、概要を掲載いたします。

○地方交付税
質疑趣旨 地域の元氣創造事業費の算定方法について伺います。
答弁趣旨 通常の算定に加え、各地方公共団体が地域経済活性化に取り組むための財政需要を算定するもので、各地方公共団体の行革努力や地域経済活性化の成果指標を反映させる仕組みとなっております。

地域の元氣臨時基金は、その財源を次年度に繰り越すことを目的として設置された基金で、事業計画のうち平成26年度において実施予定の運動公園野球場整備事業の財源の一部として充当する予定となっております。

○市債
質疑趣旨 合併振興事業債以外の合併特例債と残りの枠について伺います。
答弁趣旨 起債対象が、合併市町村における市町村建設計画に基づく特に必要な事業又は市町村振興のための基金造成に要する

経費とされており、合併後の市町村の一体性の速やかな確立を図るために行う公共的施設の整備事業と合併後の市町村の均衡ある発展に資するために行う公共的施設の整備事業が対象となつていきます。

平成26年度は合併振興基金造成事業に2億3,940万円、それ以外の合併特例債に4億9,320万円を発行見込みです。

合併特例債は、26年度発行予定額を差し引くと、127億5,870万円が今後の合併特例債起債可能額となっております。

○水と緑の大地ふるさとぬまた寄附事業

1,001千円

質疑趣旨 事業内容を伺います。
答弁趣旨 「水と緑の大地ふるさとぬまた寄附条例」に基づき事業を行い、平成25年12月末現在で、延べ127人の方から1,361万8,000円のご寄付をいただいています。

平成23年度には354万3,000円を、平成25年度には746万9,000円を一般会計予算に繰り入れ、寄附者の意向に基づき事業に充当させていただいたものです。

新年度では、寄附者へのお礼

と本市のPRを兼ねて農産物や物産等の贈呈を行うものです。

○環境教育用施設整備事業

12,016千円

質疑趣旨 事業内容を伺います。

答弁趣旨 地球温暖化防止対策の推進と環境保全を中心に、自然エネルギーを活用した小規模な発電施設や雪氷熱利用施設による体験、竹チップ利用による環境保全研究、環境啓発パネル設置などを、サラダパークぬまたにおいて計画するものです。

質疑趣旨 発電規模や主な啓発対象者を伺います。
答弁趣旨 小水力発電は500ワット規模、施設の屋根に設置の太陽光発電は、5キロワット規模です。

主な対象者は、幼稚園や小中学校の遠足などを考えています。



環境教育が実施予定のサラダパーク

○扶助費

552,154千円

質疑趣旨 給付基準の見直しによる影響について伺います。

答弁趣旨 昨年8月の変更期での差額は、対象人数274名、234世帯で、約27万円の減額となり、比較的小さな影響と捉えています。

質疑趣旨 生活保護費の基準の引き下げへの影響を伺います。

答弁趣旨 比較的影響を受けやすいとされる多人数世帯が少なく影響は小さいものと見ています。

○地域子育て支援拠点事業

23,420千円

質疑趣旨 事業の内容と今後どう取り組みを進めるのか伺います。

答弁趣旨 子育ての孤立感・負担感の緩和を図るため、子育て中の親子が気軽に集い交流する場を設置し、子育てに関する相談や情報提供などの支援を行う事業で、市内に公設民営の1施設及び民設民営の2施設が開設されています。

新年度では、この3施設への事業委託を予定しています。
また、公設民営の施設として、保健福祉センターの3階に開設しています「子ども広場」は、利用者の増加から手狭になって

いることから、施設を移転し整備を図るため、設計業務委託料などを計上するものです。

質疑趣旨 「子ども広場」の詳細を聞かせてください。

また、場所はどこになるのか伺います。

答弁趣旨 現在の広さは、約18坪と狭く、3歳以上と未満に分けて広場の実施を見込み、約45坪の確保を考えています。

場所については、現段階ではお伝えできませんが、一戸建てが基本ですが、複合ビルの中という事例もありません。

○介護予防サービス等諸費

3,413,878千円

質疑趣旨 「要支援」の介護保険からの市事業への移行に伴う影響と新年度の動向についてどのようになっているのか伺います。

答弁趣旨 社会保障審議会介護保険部会の意見に基づき、国が示した介護保険制度の見直し策の一つであり、居宅サービスのうちの「訪問介護」と「通所介護」を平成29年度末までに市町村が取り組む「地域支援事業」に移行させ、既存事業者のほか、ボランティアなどにも担い手になってもらうことで関連費用の伸びを抑えることを目指そうとす

るものです。

地域性に差があることは否めませんが、「今までと同じサービスが受けられる」仕組みづくりを行うことが求められます。

国は、地域支援事業拡充のガイドラインを本年夏頃に示すと聞いていますので、今後、県の説明会の内容などを踏まえ、本年度に取り組む次期介護保険計画に盛り込んでいく考えです。

○子宮頸がんワクチン接種委託料

16千円

質疑趣旨 副反応への対応内容を伺います。

答弁趣旨 昨年度から定期予防接種後に持続的な痛みや機能障害が起きたので、その年の6月から積極的な勧奨を控えて「現在は積極的に実施していない」旨の周知を徹底してきています。

○まちづくり支援事業

3,723千円

質疑趣旨 事業内容を伺います。

答弁趣旨 新年度から産業振興課にグリーンヘル21対策係が設置されますが、この係を中心に総合的な対策及び支援を進めるための事業費を計上するもので、企業経理に精通した者を嘱託職員として任用する人件費、専門

家の力をお借りし、総合的な対応を図るための調査業務委託料のほか、職員がこれら関係者、あるいはテナントとして施設を活用していただけるような企業・事業体等との連絡・調整に当たするための旅費の計上です。

○都市計画区域見直し事業

10,617千円

質疑趣旨 事業内容を伺います。

答弁趣旨 平成23年度に実施した都市計画区域内の基礎調査をベースに、市全体の現状を把握して、都市計画区域や用途地域の見直しと一体的に、都市計画道路の見直しについて検討するための業務委託料の予算を確保をさせていただきます。

質疑趣旨 どんなことに着目して見直しを行うか伺います。

答弁趣旨 用途地域では、国道120号線沿線地域の問題ですが、上越線以东の薄根地区であるとか、区域の拡大についても、白沢地区の国道120号線沿線の問題、準都市計画区域の適用では、利根町の振興局周辺の問題等が既に提起をされていますので、そうしたところを含めて見直しを図る考えです。

○農産物6次産業化推進事業

1,040千円

質疑趣旨 事業内容を伺います。

答弁趣旨 「6次産業化」とは農林漁業者が生産、加工、販売を一体化し所得を増大する取り組みや、農林漁業者が製造業や流通小売業等と連携して地域ビジネスの展開や新たな産業を実現しようとするもので、6次産業化法による計画認定を受けた者には、資金面での優遇措置や専門家によるサポートなどの支援を受けられることになっていきます。

この計画認定の推進に支援するとともに、市として何の農産物を利用し、どんな商品を開発するかや、販路拡大など6次産業化サポートセンターのプランナーや専門家の指導助言を受けながら、既に取り組んでいる農業者や直売事業者、JA、販売業者などとともに取り組んでいきたいと考えています。

○やさしさ・にぎわいの核整備事業

95,868千円

質疑趣旨 当該年度の事業内容を伺います。

答弁趣旨 生活支援のためのやさしさの核及び集客支援のための

にぎわいの核を公益的施設として整備を計画して事業を進めているところであり、現在、1街区の建物移転が順調に進捗していることから、これに合わせてにぎわいの核に係る先行買収用地の買い戻しを図るものです。

○中心市街地土地区画整理事業

293,798千円

質疑趣旨 当該年度の事業内容を伺います。

答弁趣旨 仮換地指定済みの上之町地内の建物移転を主に、区画道路の延長整備工事を行う計画となっています。

また、新規に仮換地未指定地区の2街区及び4街区について仮換地指定を行う予定であり、事業の推進を図っていききたいと考えています。

○小学校教育振興事業

44,275千円

質疑趣旨 要保護及び準要保護児童援助費の事業内容を伺います。

答弁趣旨 経済的に困っている家庭の児童生徒が教育活動に円滑に取り組めるように学用品費や学校給食費等の援助を行うものです。

要保護の対象は、生活保護法第6条3項に規定する要保護者の家庭で、準要保護の対象は、生活保護を受けている家庭に準ずる程度に生活が困窮していると教育委員会が認めた家庭です。

○運動公園野球場改修事業

171,267千円

質疑趣旨 事業内容を伺います。

答弁趣旨 本年度は内外野壁への緩衝マットを設置しましたが、

新年度には、公園利用者の安全面を考慮し、一塁・三塁内野側とバックネット裏に硬式球にも対応可能な高さを確保した防球ネット、観戦に訪れた方のためのベンチ式観覧席を設置するほか、ピッチャーズマウンドなど内野グラウンドの補修などを行うものです。

質疑趣旨 改修によってどのような効果が見込めるのか伺います。

答弁趣旨 防球ネット設置による

公園利用者の安全性確保、観覧席設置による観戦者などの利便性向上のほか、硬式球使用時の安全が確保されるため、野球場と隣接する補助競技場（サブグラウンド）の同時使用が可能になるなどの効果が見込めるところです。

○（仮称）利南運動広場整備事業

1,076千円

質疑趣旨 本格整備への検討について伺います。

答弁趣旨 当面は、競技種目を限定しない多目的運動広場として活用を推進することになっていきますが、今後は、社会情勢、財政状況を勘案し、関係団体、関係部局と連携し、検討していきたいと考えています。



整備が進む上之町周辺



改修工事予定の運動公園野球場

**議案第29号
平成25年度沼田市一般会計
補正予算(第7号)**

本補正予算は、去る2月14日

及び15日の豪雪による災害復旧関係経費に限定し、既決の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2億3,423万3,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ211億3,965万円とするものです。

【歳出】

第6款農林水産業費は、2,577万6,000円の追加で、農業費では、農地費で農道に係る道路除雪作業委託料の追加、災害支援費で豪雪により被災した農業者に対する農業生産施設災害見舞金の計上です。

第7款商工費は、2,009万3,000円の追加で、観光交流費で、温泉休養施設道の駅「白沢」に係る施設除雪委託料の計上です。

第8款土木費は、2,449万1,000円の追加で、道路橋りょう費では、道路橋りょう総務費で災害出動に係る車両の燃料費及び修繕料の追加、道路維持費で除雪に係る重機等のタイヤチェーンなどの消耗品費、

燃料費及び車両修繕料、機械借上料、道路維持補修用原材料費及び道路除雪作業委託料の追加、道路消雪施設に係る燃料費、光熱水費及び修繕料の追加です。

第9款消防費は、4,583万7,000円の追加で、災害支援費で、豪雪により被災した住宅などの復旧・修復を支援する豪雪災害復旧緊急補助金を計上するものです。

第10款教育費は、1,398万9,000円の追加で、保健体育費では、体育施設費で豪雪により被災した旧利南中学校運動広場及び利根屋内プールに係る修繕料の追加、給食管理費で沼田給食センター及び利根調理場に係る修繕料の追加です。

第11款災害復旧費は、1億2,204万7,000円の追加で、農林水産施設災害復旧費では、農道をはじめとする農林水産施設に対する災害復旧費、土木施設災害復旧費では、豪雪により被災した市内全域の市道の除排雪に係る災害復旧費です。

【歳入】

第18款繰入金は、2億3,303万2,000円の追加で、財政調整基金繰入金の追加です。第20款諸収入は、120万1,

000円の追加で、関東市議会議長会、全国市議会議長会、群馬県市町村振興協会、茨城県水戸市などからの災害見舞金の計上です。

**議案第33号
平成26年度沼田市一般会計
補正予算(第1号)**

本補正予算は、去る2月14日

及び15日の豪雪により大規模な被害を受けた農業の早期復興を図るため、農業施設の再建及び農作物の回復を目的とした農家支援関係経費に限定し、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ6億2,993万6,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ215億1,815万円とするものです。

国及び県と緊密に連携し、切れ目なく速やかな事業の執行を図るため、平成26年度予算に対する補正予算(第1号)として上程するものです。

【歳入】

第6款農林水産業費は、6億2,993万6,000円の追加で、農業費では、農業振興費で豪雪により被害を受けた農作物の樹草勢の回復及び代替作付けに要する費用の助成を行う農

漁業災害対策特別措置補助金を計上するものです。

また、同じく農業振興費で、被害を受けた農産物生産施設の復旧及び撤去等に要する費用に對して緊急的な支援を行う被災農業者向け経営体育成支援事業補助金を計上するものです。

【歳入】

第15款県支出金は、5億3,667万8,000千円の追加で、県補助金では、農林水産業費県補助金で、農漁業災害対策特別措置補助金及び被災農業者向け経営体育成支援事業補助金の計上です。

第18款繰入金は、9,325万8,000円の追加で、財政調整基金繰入金の追加です。

**請願第1号
脳脊髄液減少症の診断及び治療等に関する請願書
民生福祉常任委員長報告**

本請願の趣旨は、脳脊髄液減少症とは、交通事故やスポーツ障害等、全身への衝撃により、脳脊髄液が漏れ続け、頭痛、首・背中の痛み、腰痛、めまい等のさまざまな症状が複合的に発症する疾病と言われ、ブラッドパツチ療法の有効性が認められつ

つも、保険適用外であり、同療法の治療基準を速やかに定め、平成26年度に保険適用すること。

また、「脳脊髄液減少症の診断・治療の確立に関する研究」を平成26年度以降も継続し、「診療ガイドライン」の早期作成とともに、子どもに特化した研究及び周辺病態の解明を行うよう、政府に意見書の提出を求めると、本委員会は、審査の結果、全会一致により採択すべきものと決定しました。

**請願第2号
武道館建設を求める請願
総務文教常任委員長報告**

本請願は、昭和30年建設の沼田市武道場と沼田小学校より移築された沼田小学校講堂記念体育館がその任を果たしており、両施設とも手狭で、正規の試合場が取れないことや、耐震の面からも利用者の安全が図られない状況であるため、財政状況と安全安心の面を考慮に入れ、市有施設整備の優先順位を検討して、武道館建設に向けた計画を示されたいというものです。本委員会は、賛成多数により、採択すべきものと決定した次第です。

議案等審議結果（3月定例会）

番 号	件 名	結 果
議案第 1号	市道路線の認定について	可決（全会一致）
議案第 2号	字の区域の変更について	可決（全会一致）
議案第 3号	沼田西中学校屋内運動場建築工事請負契約の変更について	可決（全会一致）
議案第 4号	沼田市地域の元気臨時基金条例の制定について	可決（全会一致）
議案第 5号	沼田市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例について	可決（全会一致）
議案第 6号	沼田市保健福祉センターの設置及び管理に関する条例等の一部を改正する条例について	可決（全会一致）
議案第 7号	沼田市社会教育委員条例の一部を改正する条例について	可決（全会一致）
議案第 8号	平成25年度沼田市一般会計補正予算（第6号）	可決（全会一致）
議案第 9号	平成25年度沼田市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	可決（全会一致）
議案第10号	平成25年度沼田市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	可決（全会一致）
議案第11号	平成25年度沼田市介護保険特別会計補正予算（第3号）	可決（全会一致）
議案第12号	平成25年度沼田市簡易水道事業特別会計補正予算（第4号）	可決（全会一致）
議案第13号	平成25年度沼田市下水道事業特別会計補正予算（第3号）	可決（全会一致）
議案第14号	平成25年度沼田市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）	可決（全会一致）
議案第15号	平成25年度沼田市水道事業会計補正予算（第3号）	可決（全会一致）
議案第16号	沼田市行政財産使用料条例等の一部を改正する条例について	可決（賛成多数）
議案第17号	沼田市立幼稚園保育料等徴収条例の一部を改正する条例について	可決（全会一致）
議案第18号	沼田市特別職の職員で常勤のものの給与に関する条例の一部を改正する条例について	可決（全会一致）
議案第19号	沼田市教育委員会教育長の給与その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例について	可決（全会一致）
議案第20号	平成26年度沼田市一般会計予算	可決（賛成多数）
議案第21号	平成26年度沼田市国民健康保険特別会計予算	可決（賛成多数）
議案第22号	平成26年度沼田市後期高齢者医療特別会計予算	可決（賛成多数）
議案第23号	平成26年度沼田市介護保険特別会計予算	可決（賛成多数）
議案第24号	平成26年度沼田市簡易水道事業特別会計予算	可決（賛成多数）
議案第25号	平成26年度沼田市下水道事業特別会計予算	可決（賛成多数）
議案第26号	平成26年度沼田市農業集落排水事業特別会計予算	可決（賛成多数）
議案第27号	平成26年度沼田市水道事業会計予算	可決（賛成多数）
議案第28号	豪雪被害からの生活再建及び早期復旧に関する意見書案について	可決（全会一致）
議案第29号	平成25年度沼田市一般会計補正予算（第7号）	可決（全会一致）
議案第30号	沼田市固定資産評価審査委員会の委員選任の同意について	同意（全会一致）
議案第31号	「協同労働の協同組合法（仮称）」の速やかなる制定を求める意見書案について	可決（全会一致）
議案第32号	沼田市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について	可決（全会一致）
議案第33号	平成26年度沼田市一般会計補正予算（第1号）	可決（全会一致）
議案第34号	ブラットパッチ療法の保険適用及び脳脊髄液減少症の診断・治療の推進を求める意見書案について	可決（全会一致）
請願第 1号	脳脊髄液減少症の診断及び治療等に関する請願書	採 択
請願第 2号	武道館建設を求める請願	採 択

▼ 編集後記 ▲

2月14日（金）から翌15日（土）にかけて、県内ははじめ関東一円がまれにみる豪雪となりました。

本市においても生活道路やカーポートをはじめ、農業生産施設であるパイプハウス・ガラスハウスや畜舎等への被害は想像を超えるものとなりました。

国、県、市町村は手厚い対策を講じておりますが、壊れたハウス等を建て直し生産を再開するには容易ではありません。

一方農家の高齢化は進み、農業者の平均年齢は68歳にも達し、サラリーマンの定年をとうに超えた年齢となっております。

このような中で、壊滅的被害をうけた農家の再建は一層深刻なものと思います。

この「議会だより」が皆さんのお手元に届くころには、倒壊した諸施設等の再建がなされているよう心から願っております。

編集委員 石井 紘一